

1 情報教育の取組について

1 はじめに

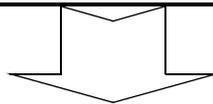
本市教育研究所の情報教育調査研究は、平成19年度より開始、本年度で8年目となる。情報モラル教育研究部会では、昨年度に作成した情報モラル啓発リーフレットを全児童・生徒に配布し活用を図った。けやきネット活用研究部会においては、校務の合理化を推進するために、けやきネットの活用促進を進めてきた。教職員の校務の負担軽減を目指した事務部門の強化についても継続して研究している。

今後も引き続き「情報教育推進計画」に従い、児童生徒が情報を主体的に選択・活用できる能力や情報モラル等の育成を図るために、市教育研究所として教職員のICT活用指導力の向上に取り組んでまいります。また、教職員の校務の負担軽減のためにも、教育の情報化を推進いたします。

2 下野市情報教育推進計画

○ 基本方針及び研究推進の方向性

| | |
|--|---|
| (1) 情報モラル教育の計画的推進 | (2) PC活用技能の習得強化 |
| ◎情報モラルに関する授業の実践(授業公開) ・情報モラル育成資料の活用 ・情報モラル教育実践ガイダンスの活用 ○啓発リーフレット(指導資料)の活用 | ○PC操作時間確保の工夫 ※小学校中学年で文字入力などの基本的な操作を身につける。 ※小学校高学年で情報モラルを身につける。 ※中学校で情報活用能力を身につける。 |
| (3) eラーニングの活用推進 | (4) ICT機器の活用による授業実践 |
| ○eラーニングの活用(研究指定) ・4中学校による活用推進(活用場面の工夫、活用実態の調査) ・継続活用(石橋北小、スマイル教室) | ○日常的なICT機器の活用実践 ・PC、電子黒板、デジタルテレビ、デジカメ、プロジェクター、実物投影機、タブレット等 ※特に電子黒板の活用。 ○ICT機器の活用状況の調査と利活用の事例収集 |
| (5) 校務処理の電子化への取り組み | (6) セキュリティの確保 |
| ○指導要録の電子化 ○校務日誌の電子化 ○出席簿等の電子化(小学校) ○すぐメールの活用 ○事務手続き関連「たすかるくん」の活用 | ◎ガイドライン等の見直し ○情報漏洩の防止 ○保存データのバックアップについて ○サーバーの管理 |
| (7) 市教育情報ネットワーク(けやきネット)の効果的活用 | |
| ○校務支援ソフト(WinBird)の活用 ・連絡板、掲示板、メッセージ等の活用 ・児童名簿管理の活用 ・各種テンプレートの活用等 ※学校代表アカウントⅡには、テンプレート作成の権限を与えてあります。(情報教育担当者が管理してください。) ○ホームページの更新(Webコア) ・校務分掌への位置づけについて(担当者の確認) | |



| 情報モラル教育研究部会 | けやきネット活用研究部会 | 事務部門強化部会 |
|--|--|--|
| ○情報モラルに関する授業の実践(授業公開) ・情報モラル育成資料の活用 ○啓発リーフレット(指導資料)の活用 ・啓発資料の印刷・配布 ○情報モラル教育の推進 | ○WinBirdの活用促進 ①校務合理化の研究 ②すぐメールの活用 ③活用方法の紹介 ④蓄積してきたコンテンツの紹介(再発掘) ○出席簿の活用(小学校) ○学校HPの更新アドバイス | ○学校事務情報の共有化推進 ○学校間格差のない事務処理の研究 ○下野市小中学校備品管理規則(原案)の作成 |

2 各部会の取組

1 けやきネット活用研究部会

(1) 研究テーマ

けやきネットを活用した「教育の情報化」の推進

(2) 研究内容

① けやきネット上に蓄積されている学習教材の掘り起こしと、教職員への周知

けやきネットのサーバー上には、数年前にけやきネット活用研究部会で編さんした、授業で使える学習教材が蓄積されている。人事異動で他市町から下野市に赴任し、その存在を知らない教職員やその存在を忘れてしまい活用の機会を逃してしまっている教職員が少なからずいると考えられる。他市町に誇れる立派な情報資産を今回掘り起こし、教職員へ周知を図り、授業に生かすことにより、日々の教育活動の一助になればと思い、研究内容に設定した。

図 1

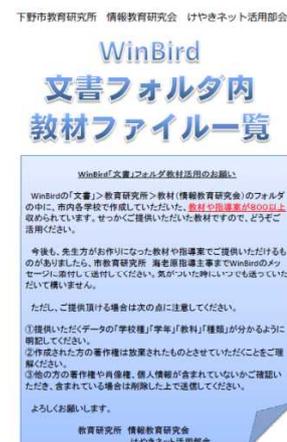


図 2

平成22年度版 WinBird「文書」フォルダ内 教材ファイル一覧

| 番号 | 学校種 | 学年 | 教科 | 種類 | ファイル名 | 登録日時 | データ量 |
|----|-----|----|----|--------|------------------------|-----------|-------|
| 1 | 小学校 | 1年 | 音楽 | ワークシート | 音楽鑑賞ノート(低学年).jtd | 2009/5/29 | 26KB |
| 2 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | あったかことばワークシート.doc | 2010/2/2 | 25KB |
| 3 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | あったかことば掲示用.doc | 2010/2/2 | 30KB |
| 4 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | 学級会ノート低学年用.xls | 2009/6/3 | 27KB |
| 5 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | 学級会の進め方カード(低).doc | 2009/6/3 | 44KB |
| 6 | 小学校 | 1年 | 学活 | 指導案 | 気持ちのよいあいさつバージョンアップ.jtd | 2010/2/4 | 33KB |
| 7 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | 議題提案カード(低).doc | 2009/6/3 | 33KB |
| 8 | 小学校 | 1年 | 学活 | ワークシート | 1行日記.jtd | 2009/5/29 | 222KB |

各校で教材ファイル一覧 PDF ファイル (図 1、図 2) を印刷し、回覧するとともに活用を図った。以下に感想を紹介する。

- ・ 3年の算数「算数難し問題」を児童に取り組みさせた。算数パズルのような問題から、問題文を正しく読み取らなければならぬ問題など、一筋縄ではいかないような問題ばかりだったが、児童は、「難しい、難しい。」と言いながらも、楽しそうに取り組んでいた。
- ・ 本年度下野市に異動してきて、このような体系化されたデジタル教材やその一覧があることにまず驚いた。質・量ともに豊富な学習教材をどのように授業で有効活用していくか考えることも多かったが、それも含めて自分の資質や授業の質を高めることにつながったことは間違いないと思う。今後もこれらの学習教材を使って、授業改善に取り組んでいきたいと思う。

② 校務合理化のための種々のファイルの活用

校務合理化のために、いくつかのファイルを作成し、けやきネット部会の研究員を中心に各校で使用した。いずれのソフトもエクセルのVBAを活用し、誰にでも簡単に使用できるように、マニュアルも添付した。以下にファイルの内容を紹介する。

| No | ファイル名 | 概要 | 活用場面 |
|----|---------------|--|-------------------------------|
| 1 | リスト登録 | エクセルのオートフィルを自分好みに登録できる。 | 連番での氏名入力する |
| 2 | 変換名簿 (共通 ver) | 日本語変換ソフトの単語登録ができるように、必要な情報を自動でテキストファイルに成形する。 | 児童生徒の氏名を入力する |
| 3 | 児童生徒名フォルダ | 児童生徒名のフォルダを瞬時に作成する。 | 総合的な学習の時間等に児童生徒が作成したファイルを格納する |

【リスト登録】



【児童生徒名フォルダ】



【変換名簿（共通 ver）】



各校の情報主任を中心にこれらのファイルを使用してみた。以下にその感想を紹介する。

【リスト登録】

・年度当初の児童名簿や児童数一覧の作成の際にとっても便利である。特に大規模校の場合に効果を発揮すると思う。

【児童生徒名フォルダ】

・フォルダの作成と児童生徒名の入力が同時に行えるので、労力の軽減、作業時間の短縮が期待できる。特に年度切り替え時、PC 教室の保存フォルダ作成時に力を発揮すると思われる。また、フォルダには番号だけでなく個人名もついているので、保存時の間違いも減るのではないかなと思う。

【変換名簿】

・全児童の氏名が一斉に辞書登録できるので、大変便利である。最近は難読名前が増えてきたが、それをその都度辞書登録する必要がないのは大きな利点である。また、担任している児童以外の氏名が正確に変換できるのも有り難い。特にデメリットは感じていない。

・マニュアルが分かりやすく、すぐに利用することができた。名簿登録も学年名簿からコピーできて手間いらずだった。ATOK、IME へのユーザー辞書への登録もすぐにできた。普段、ATOK を使用することが多く、IME のパレットの出し方に少し手間取った。

・クラスの児童の名前を簡単に単語登録でき、児童氏名の入力の手間が大幅に軽減されるので、とても便利である。

③ 一斉メール（すぐメール）マニュアルの改善

一昨年、下野市の緊急連絡システムとして一斉メール（以下すぐメール）を始めた。当初は保護者に登録を任せていたが、種々のトラブルがあった。その解決策として昨年度、学校で使っている名簿に自動で紐付けをするファイルを作成し、年度始めの進級作業を中心に使用した。本年度は、ファイルの改善は行わなかったが、更に使い勝手をよくするために、すぐメールのマニュアルの改善を行った。これにより、すぐメール担当者の進級作業の負担を軽減できた。

(3) 次年度に向けて

本年度は、教材ファイル一覧の掘り起こしを行った。それを受けて次年度は活用事例を下野市全教職員に周知する活動につなげていけると、更なる情報資産の活用につながると思われる。また、各校で使っている校務合理化のためのファイルやシステム等を紹介したり、導入したりすることにより、教材研究や児童生徒と向き合う時間の確保につなげていきたい。すぐメールの更新や運用についても、情報教育担当者の異動等もあることから、本年度改善されたマニュアルをもとに研修会等を実施し、より簡便にすぐメールを運用できるようにしていきたい。

2 情報モラル部会

(1) 研究内容

コンピュータやインターネット、携帯端末などの情報手段の急速な普及と技術革新は、私たちの生活に豊かさや便利さをもたらす反面、そのメディアを利用した犯罪やいじめが発生しており、新たな環境に対応する指導の研究が不可欠である。そこで、本部会では、情報モラル教育の推進のため、小学校と中学校で情報モラルに関する授業を実践し、児童や生徒への指導をどのようにすればよいかを研究することにした。また、児童生徒への情報モラルの啓発資料を作成・配布し、各学校での指導に役立てることとした。

(2) 授業実践および情報モラル啓発資料の作成・配布

① 薬師寺小学校の授業実践

学級活動：「防ごう 身近なネットトラブル」北城 篤史 教諭

(北城先生のオリジナルの指導案で実施。)

1 題材 防ごう 身近なネットトラブル

2 本時の狙い

インターネット上でのトラブルを防ぐために、自分はどんな行動ができるか考えよう。

3 本時の展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 | 資料 |
|----|---|--|--|--------------------------------|
| 導入 | ○アイスブレイク ○狙いの確認 ・気持ちの食い違いでトラブルに発展した経験を話し合わせる。 | ・和やかな雰囲気の中、学習活動が進められるようにする。 ・本時の狙いに迫るために、簡単な話合いを行う。 | ・人間関係のトラブル防止について理解している。 (知識・理解) | |
| 展開 | ○活動1 ・5つの言葉から言われて嫌な言葉を選ぼう。 ○活動2 ・メッセージのやりとりの疑似体験から、なぜそう思ったのか感じたことを話し合おう。 | ・「まじめ」「おとなしい」「おもしろい」「個性的」「マイペース」の5つの言葉をカードにしてグループに配付する。 ・自由な発言で、自分とは違った他者の考えを認められるようにする。 ・メッセージのやりとりの疑似体験から、自分の気持ちと相手の気持ちに食い違いが生じてしまい、それがトラブルの原因になったことに気付かせる。 ・嫌がることをしない、というルールを設定するのではなく、なぜ相手が嫌がるのかを考えた行動ができるようにさせる。 | ・課題の原因について理解し、その解決方法について自分の問題として考えている。 (思考・判断・実践) | カード 5種 ワークシート AとB |
| 終末 | ○まとめ ・今後のネットトラブルを防ぐための自分なりの努力点を決め、具体的な行動を考える。 | ・映像資料から、より良い行動とは、何かを考えさせる。 ・今後の人生を歩む上で情報機器は必要になる。その長所や短所を知った上で、トラブルなく上手に付き合っていく方法を自分なりに考えさせる。 | ・自分の課題に合った実行可能な行動を決めている。 (思考・判断・実践) | 映像資料 ワークシート |

| | | | | |
|--|-------------------|---------------------------|--|--|
| | ・自分が努力することを発表し合う。 | ・お互いの頑張りについて、励まし合えるようにする。 | | |
|--|-------------------|---------------------------|--|--|

参考資料映像：Youtube「SNS等のトラブル（小5～中1） ひとりよがりの使い方にならないように」

ア 生徒の変容・気づき

- ・児童一人ひとりが真剣に考えている姿があった。
- ・メールやSNSアプリの特性を児童は理解していた。「そうか、そうなのか」という声があがっていた。
- ・ワークシートを見た限りでは、約束事について考えている児童がいたことから、誤解を生む表現やネットトラブルについて納得できていたのではないか。
- ・道徳的に良いことを書いている児童が多かった。
- ・解説を授業時間内で見せることでより変容があったのではないか。

イ 授業展開の良い点

- ・導入時にクラスの雰囲気を和らげていた。
- ・自分の部屋の設定を強調して指導した点。
- ・使用した掲示物がわかりやすかった。
- ・「正しく使おう」という一言が指導者からあったので、使わないという判断ではなく、トラブルを防いで使おうという方向になっていた。
- ・児童の活動毎に形態を工夫していた（個人作業とグループ活動とのメリハリ）。
- ・授業の中で児童の動きにメリハリがあり、学習のルール（習慣）が徹底していることが素晴らしい。
- ・ワークシートを書き終わった後に、お互いに異なる意見になる理由を話している児童がいて、内容が深まっていた。
- ・動画の視聴により、身近な問題ととらえることができた。
- ・活動1では1つの言葉でも人によってとらえ方が違うということをもとめていた。
- ・活動2ではAとBのワークシートの違いが良かった（相手と自分の名前が入っている）。

② 情報モラル啓発資料の活用

栃木県教育委員会が作成した「情報モラル育成資料集」の情報モラル指導カリキュラム表に基づき、小学校低学年用、小学校中学年用、小学校高学年用、中学生用の4つ啓発資料（リーフレット）を作成、市内全児童・生徒に配布した。学級活動や道徳の時間等において、情報モラルを取り上げる授業で活用していただきたい。

小学校低学年用

平成26年度版 じょうほうモラル(小学校1-2年向け) 下野市情報教育研究部会

コンピュータやゲームなどを使うときのやくそく

ゲームのかしかりは、やめよう！かしかり

ゲームは、じかんをきめてやりましょう！！

コンピュータやけいだいでは、わは、おうちの人とやくそくどおりにつかひましょう。

もし、コンピュータやゲーム、けいだいなどで、こまったことがあったら、おうちのひとや先生など、おとなの人にそだんしょう。このかみもいっしょにみせてください。(保護者の方へ) 下野市生活安全課内の下野市消費者生活安全センター(44-4883)で相談できます。

小学校中学年用

平成26年度版 情報モラル(小学校3-4年向け) 下野市情報教育研究部会

インターネットでの情報発信では、ルールやマナーを必ず守ろう！

インターネットを利用していて心配なことがあったら、大人に相談しよう。

健康のために、使いすぎに気をつけよう！！

郵便物やプリントをそのまま捨てるのはやめよう。名前や住所などの個人情報流出になります。気をつけよう！！

もし、インターネットや携帯電話などで、困ったことがあったら、保護者や先生、または、下野市生活安全課内の下野市消費者生活安全センター(44-4883)に相談しましょう。

小学校高学年用

平成26年版 情報モラル(小学校5-6年向け) 下野市情報教育研究部会

人の悪口やよくないうわさをかかない!
人権 人権 人権

ルールやマナーを守って利用しよう!

「加入」「同意」「登録」「課金」などを行う際は、必ずその内容を大人にチェックしてもらいましょう。

使用は、明るいところ。適度に休憩を入れながら使おう。

自分や友達の情報、簡単にネットにのせない。
名前や写真などは個人情報です!!

個人情報

もし、インターネットや携帯電話などで、困ったことがあったら、保護者や先生、または、下野市生活安全課内の下野市消費者生活安全センター（44-4883）に相談しましょう。

中学生用

平成26年版 情報モラル(中学生向け) 下野市情報教育研究部会

普段の生活で、友達の間口を言ったり、いじめたりしないことと同じで、携帯電話のメールや掲示板への書き込みでも、悪口やいじめを書き込まない。

知らない人からのメールや怪しいメールは開かない!!

「このメールを10人に送ってね!」や「送ると幸せになります」などのメールは、チェーンメールです。このようなメールに反応せず、絶対に送らないこと!!

メールアドレスや住所を求められても打ち込まず、相手に知られないようにする。

もし、インターネットや携帯電話などで、困ったことがあったら、保護者や先生、または、下野市生活安全課内の下野市消費者生活安全センター（44-4883）に相談しましょう。

(3) 成果と課題

- ・情報モラル育成資料集の内容が、現在の子どもたちを取り巻く環境の下での実態とは異なっている。今回は、情報技術の進化に対応させるために、指導者のオリジナルの指導案で展開しており、他の先生方にも参考になる内容であった。今後も、情報モラル育成資料を参考に、現在の実情に合った内容に修正して使っていかななくてはならない（現在の情報機器や LINE などのSNSに直接合わない展開もあるが、内容や思い、願いは同じなので、積極的に活用すべきである）。本時の指導案やワークシートなどを共有して指導を進めていきたい。
- ・市内の小・中学校でもSNS等を用いたいじめや、心ない書き込みの問題が発生していることから各校における情報モラルの指導は極めて重要である。e ネットキャラバンは無料でタイムリーな内容を講演・指導してくれるので、各校でも申し込んで利用していくと効果的である。
- ・情報モラル啓発資料（リーフレット）は、早速情報モラルの指導に活用していただいた学校も多いので、毎年少しずつ内容の見直し等をし、今後も長く活用していけるようにしていきたい。